

2019年10月度 J.フロントリテイリング 百貨店事業 売上速報(日本基準)

※当社は2017年度から国際会計基準(IFRS)を任意適用しております。なお百貨店事業の店舗別売上高につきましては、引き続き従来の日本基準で開示します。

※数値は速報値のため、毎月中旬に発表している確定報とは誤差が生じることがあります。

※百貨店事業以外の事業も含めた連結ベースによる売上収益報告につきましては、IFRSの確定値により毎月中旬に開示します。

■ 店舗別売上高対前年増減率 (%)

店舗	10月度	9~10月累計	店舗	10月度	9~10月累計
大丸 心齋橋店	▲20.4	9.4	松坂屋 名古屋店 ※4	▲18.5	11.2
大丸 梅田店	▲14.7	1.0	松坂屋 上野店	▲19.6	▲2.4
大丸 東京店	▲15.7	▲1.7	松坂屋 静岡店	▲26.5	▲2.5
大丸 京都店 ※2	▲18.7	8.6	松坂屋 高槻店	▲18.9	▲3.1
大丸 神戸店 ※2	▲24.6	5.1	松坂屋 豊田店	▲18.9	▲2.7
大丸 須磨店	▲12.1	▲3.4	大丸松坂屋百貨店合計 ※5	▲19.1	4.6
大丸 芦屋店 ※3	▲41.2	▲35.2	(除く心齋橋店) ※7	▲18.9	3.9
大丸 札幌店	▲17.1	5.9	博多大丸	▲15.1	▲0.4
			下関大丸	▲12.0	▲1.8
			高知大丸	▲22.1	▲2.8
			百貨店事業合計 ※5	▲18.7	4.0
			(除く心齋橋店) ※7	▲18.4	3.3

■ 大丸心齋橋店取扱高対前年増減率 (%) ※6		
	10月度	累計
大丸 心齋橋店	0.2	-

- ※注) 1. 大丸山科店は、2019年3月末日をもって営業を終了いたしました。
 2. 大丸京都店、神戸店は、「不動産事業へ移管した周辺店舗テナントの前年実績を除く実質の増減率」を表記しております(京都店は2019年6月から、不動産事業に移管したテナントの前年実績を控除しています)。前年に不動産事業への移管分を含めた大丸京都店の10月度の売上は、対前年▲19.8%減。9~10月度累計は同7.3%増。前年に不動産事業への移管分を含めた大丸神戸店の10月度の売上は、対前年▲25.4%減。9~10月度累計は同3.8%増。
 3. 大丸芦屋店は、2019年3月18日から売場面積が縮小しております。
 4. 松坂屋名古屋店は、2019年3月20日から南館2階フロアを賃貸借契約に変更しているため、南館2階の本年・前年実績を控除した実質の増減率を示しております。南館2階の本年・前年実績を控除しない松坂屋名古屋店の10月度の売上は、対前年▲19.2%減。9~10月度累計は同10.1%増。
 5. 合計の増減率は、大丸山科店を除き、2、4の変更を含む実質の増減率です。山科店を含み、2、4の変更を含まない10月度の増減率は、大丸松坂屋百貨店合計対前年▲19.9%減。百貨店事業合計同▲19.4%減。9~10月度累計は、大丸松坂屋百貨店合計同3.6%増、百貨店事業合計同3.1%増。
 6. 2019年9月20日に大丸心齋橋店新本館がオープンしたことに伴い、大丸心齋橋店は従来と比較し、賃貸面積が拡大しております。参考数値として、心齋橋店の商品売上高とテナント売上高を合計した取扱高の対前年増減率を記載しております。
 7. 合計から心齋橋店の本年・前年実績を控除した増減率を記載しております。

■ 概況

10月度の百貨店事業の売上高は、消費税税前の駆け込み需要の反動減影響がほぼすべての商品分野で見られたことに加え、台風19号により一部店舗が臨時休業や営業時間短縮などによるマイナス影響を受けたことにより、大丸松坂屋百貨店合計では対前年▲19.1%減、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同▲18.7%減となった。

なお大丸松坂屋百貨店合計の免税売上高(速報値)は対前年約▲15%減(客数同▲11%減、客単価同▲5%減)となった。

*注) 免税売上高の本年実績には、大丸心齋橋店の定期賃貸借テナントの免税売上は含まれていません。

9月20日に本館を建て替えグランドオープンした心齋橋店は、消費税税前の駆け込み需要の反動減影響がある中で、宝飾品が25%増、ラグジュアリーブランドが6%増となるなど、順調に推移している。

お問い合わせ先 J.フロントリテイリング株式会社 IR推進部・グループ広報推進部
 TEL 03-6895-0178
 FAX 03-6674-7565